

令和5年度「三団体と市議との懇談会」

産業建設委員会報告書

9月13日（水）午後7時～8時30分 第三委員会室

（1）三団体から提出された議題「市議会議員選挙定数割れについて」

渡辺議員 定数の半数に当たる9名が引退を表明したが、その時期が遅く、後継者を選ぶ機会も時間もなかった。選挙公営制度もなく、新人が手を上げづらい環境下にあった。若い人から年配まで幅広く出馬しやすい環境づくりを進める必要がある。

藤森議員 告示日の1カ月前の事前説明会の時点で現職の半数が不出馬であると聞かされた。たった1カ月に新人が手を挙げられるはずがなく、今回はまったく特殊な状況だった。議員のなり手不足と言われるが、私としてはまったくそんなことはない、と思っている。

中島議員 選挙に対する市民の無関心が主因ではないか。投票率の低さ、政治参加意識の低さ、若い人が選挙に出にくい環境下にあることなどが、今回の定数割れを招いた事態の底流にあるのだと考えている。議員にも生活があり、志だけではどうにもならない。報酬の見直しが必要だ。

笠原議員 年長議員として責任を感じている。議会のことを市民にちゃんと伝えて来たか、自問自答している。議員報酬は、私が初めて議員になった年が一番高く、それ以来上下しているが越えることはなかった。現在の金額では若い人が子育てできる報酬額ではなく、その低さが根本的要因なのではないか。

酒井議員 私は告示日直前に手を挙げた一人だが、定数割れという事態は報道で知り、これも何かの因果ではないかと思い、駆け込み的に決めることになった。私にとっては「めぐり合わせ」だったとしか言いようがない。その原因については、先輩議員の皆様の発言と内容が重複する部分が多いですが、岡谷市独自の要因もあったのではないかと考えています。

これら議員側の発言に対し、三団体からは「本気で自分のまちを良くしようという気概のある人が減って来たのではないか」「無関心が根本的要因だ」「議員になる魅力に乏しいのでは」「どうせ何も変わらないという無力感が漂っている」「自分が本当にやりたいこと以外の雑務が多すぎるのではないか」「人口が減っていく中で定数の見直しも考えるべき時なのではないか」「選挙公営や議員報酬の見直しなど条件整備をすべきなのではないか」「自分事として意識を高めなければならない」「サラリーマンの定年延長が大きく影響しているのではないか」「合併の話は頓挫してしまったが岡谷だけではなく諏方圏全体で考えるべき時だ」「区でも人が集まりにくくなっており当番制のようになっている。気軽に参加できるような会合を作って参加意識を高めて欲しい」「多様な人に議員になってもらうためには低い議員報酬の見直しが必要だ」などの意見が出されました。

(2) 産業建設委員会側から提出された議題「観光資源の有効活用策について」

渡辺委員長 定住人口も大事だが、地域活性化には交流人口をいかに増やせるかが鍵になる。この委員会では現在、さまざまな岡谷市の観光資源を洗い出し、先進地への視察も行う予定で、市の観光振興についての提言書を作成する準備を進めているところだ。皆様の御意見をお聞かせ願いたい。

藤森議員 岡谷市の観光資源の根本は、市民憲章の冒頭にある「緑と湖につつまれた美しい郷土」に尽きる。サイクリングロードも完成間近で、さまざまな波及効果が見込まれる。

笠原議員 岡谷市には不変の観光資源が2つある。それは諏訪湖と天竜川だ。この2つを活かしたさまざまな観光振興策を皆さんに提案していきたい。

これら議員側の投げ掛けに対して、三団体からは以下のような発言があった。

・釜口水門、うなぎ、シルクファクトリーなど市内の観光資源をコンパクトにまとめてパッケージ

化し、外国人観光客を招き入れるツアーのようなものを組んで誘客したらどうか。

・映画館のスカラ座は若者を呼び込む拠点になっているように思う。先日も諏訪がロケ地になった映画があったが、そうした地域の魅力を伝える必要がある。

・首都圏への交通アクセスの良さから、岡谷から佐久に移住した友人がいる。交通網の利便性を高める工夫がもっと必要なのではないか。

・天竜川は下流に進むほど、河口に近づくほど水質が良くなるという皮肉な話をよく聞く。それを逆手にとって、天竜川の源に来るとがっかりすることを「日本三大がっかり」の一つだと PR するのも一考かもしれない。

・岡谷市には「若者が遊べる場所」が少ないのが問題だ。若者が好む場所として、どんなものがあるか、インターネットなどを通してアンケート調査などをやってみたらどうか。

・岡谷市の観光情報を発信するメルマガのようなものを月に 1 回ぐらい配信して、首都圏に住む皆さんに PR して欲しい。

・釜口水門に小口太郎像があるが、琵琶湖周辺の住民の皆さんの関心の方が高いことに驚かされる。小口太郎を顕彰するイベントや記念資料館などを観光資源にするのはどうか。

・・・などの意見が寄せられた。